



## 特集

- JMRA 創立 50 周年記念特別企画  
「調査会社トップに聞く：新産業ビジョン後の事業戦略」  
インタビューのまとめと産業の展望私論

## TOPICS

- JMRA アニュアル・カンファレンス 2026 スポンサー募集締切間近
- 開催報告：AI 活用・情報交流会（第 11 回 4 月度）

Vol.103

2026/5/19 配信

5 月も後半に差しかかり、外に出るとすでに初夏のような暑さを感じる日が多くなってきました。今年は気温が平年より高めの傾向が続いており、気象庁や民間の予報機関からは梅雨入りが早まるかもしれないとか、今夏は猛暑になりそうだといった話も聞こえてきます。真夏日に迫るような暑い日がすでに各地で出ているとのことで、季節の進み方が例年より早いなど感じる方も多いのではないのでしょうか。

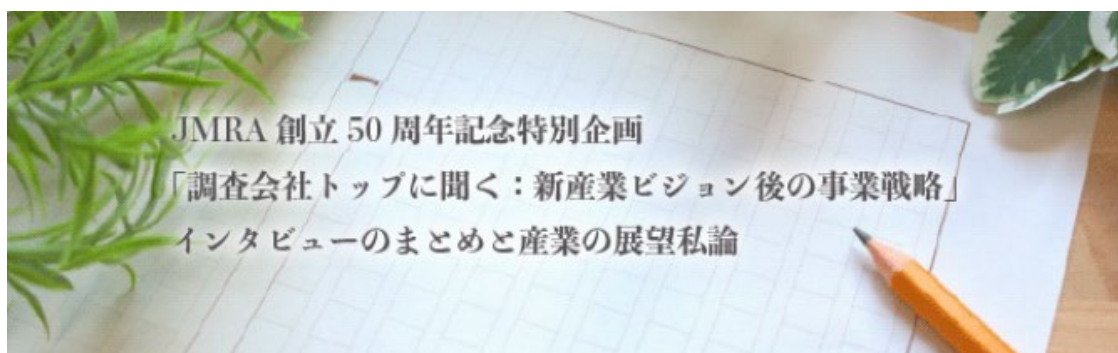
こうした気候の変化は、私たちの日常生活にもじわじわと影響を及ぼしています。暑さ対策グッズへの関心が高まったり、暑い時間帯の外出を控えるようになったりと、行動や消費のパターンが少しずつ変わってきているように思います。マーケティング・リサーチの現場でも、こうした季節要因をいかに素早くつかまえるかが、これまで以上に問われるようになっていきます。

今月号も JMRA の最新の活動情報とあわせて、業界の動きをお伝えしていきます。

<JMRA ウェブ・メルマガ委員会>

[メルマガ登録について詳しくはこちら](#)

## 特 集



**JMRA 創立 50 周年記念特別企画**

**「調査会社トップに聞く：**

**新産業ビジョン後の事業戦略」**

**インタビューのまとめと産業の展望私論**

昨年度末に JMRA リサーチ・イノベーション委員会では、創立 50 周年記念協賛事業の一環として「調査会社トップに聞く：新産業ビジョン後の事業戦略」インタビュー企画を実施し、このたびその「まとめ」を公表しました。

本稿では、主要調査会社の経営トップへのインタビューをサマリーし、さらにそれを議論材料として「新産業ビジョン」後の戦略の方向性を論考しています。

AI の進化やクライアントでの内製化の進展といった個々の課題だけに着目するのではなく、それらも含めてこの業界を、業界外の視点から見るとどのような将来展望が描けるのでしょうか。「リサーチ」や「インサイト」という観点にとどまらず、もっと大きな規模の産業構造との関連から当業界を眺めた時に見えてくる生き残りの道筋を、大胆に予想してみました。

お読みいただくと、きっと賛否両論の感想を持たれることと思います。この業界の将来だけでなく、関連する企業各社それぞれの今後のビジネスをどのように展望でき

るのか。業界関係者にとどまらず広くビジネスの意思決定に関わる皆様の、議論の刺激になれば幸いです。

[詳しくはこちら](#)

## TOPICS

JMRA アニュアル・カンファレンス2026

カンファレンス・スポンサー  
イベント・スポンサー

スポンサー募集締切間近のご案内

JMRA アニュアル・カンファレンス 2026

スポンサー募集締切間近のご案内

JMRA では、2026 年 10 月 22 日(木)にベルサール渋谷ファーストにて「JMRA アニュアル・カンファレンス 2026」を開催します。

本カンファレンスに伴い実施しておりますスポンサー募集につきましては、すでに多くの企業・団体の皆様よりご協賛のお申込をいただいております。心より御礼申し上げます。また、一部のスポンサー種別につきましては、予定枠に達したため募集を締め切らせていただいております。

現在、スポンサー募集の締切は 5 月末に迫っております。カンファレンスの目的・趣旨にご賛同いただける企業・団体の皆様におかれましては、ぜひお早めにご検討いただけますと幸いです。

スポンサー募集の詳細につきましては、「詳しくはこちら」をご覧ください。

[詳しくはこちら](#)



## 開催報告: AI活用・情報交流会(第11回 4月度)

2026年4月15日、インターネット調査品質委員会の主催による第11回の「AI活用・情報交流会」が開催されました。

今回の情報交流会では、株式会社はてな様より、インタビュー分析ツール「toitta」の新機能による分析業務の効率化について、大日本印刷株式会社様より、AIペルソナとの対話サービス「ペルソナインサイト」のトライアル実施結果について、curioph株式会社様より、AIによる定性インタビュー自動化サービス「POLLS」について、それぞれご紹介いただきました。

AIを活用した3つの異なるアプローチが並ぶ中で、AI時代におけるリサーチャーの価値について活発な議論が交わされました。今後もリサーチャー同士の有用な情報交流の場として、定期的を開催していきますので、次回以降もご期待ください。

[詳しくはこちら](#)



最近 JMRA マーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマガ委員会が精選した自主調査をご紹介します。



●～社会や価値観とともにアップデートするコミュニケーションの実態～ハラスメントに関する調査 2026

(2026.4.23 日本インフォメーション(株))  
こちらは「カスハラ」や「パワハラ」などのハラスメント行為に関する実態調査です。過去の調査との比較を踏まえ、不機嫌な態度で威圧する「フキハラ」や義務化されるカスハラ対策への意識、AIの利用で不快感(ハラスメント)に感じる事等、ハラスメント意識の変化を分析しています。

詳しくはこちら(JMRA マーケティングデータ・ストレージ)



●「ギルティ消費」を徹底解剖！「ストレス発散」の奥にある深層心理とは？  
(2026.4.23 (株)マクロミル)

こちらの記事では「背徳グルメ」の流行を受け、ギルティ消費の深層心理について調査しています。実施頻度や自分への言い訳、予算、重視する要素に加え、消費後の感情(後悔か明日への活力か)などを聴取し、現代人のストレス発散の実態を分析しています。

詳しくはこちら(JMRA マーケティングデータ・ストレージ)

## 連載

What's happened?

## おすすめ記事をピックアップしてご紹介

広告・マーケティングの最新動向がわかるマーケター向け専門メディア「MarkeZine」から、おすすめ記事をピックアップしてご紹介いたします。



●【Qoo10×日本テレビ】TikTok 活用の現在地



●メーカーが人生の伴走者になるには？

UGCを生む仕掛けと、現場が自走できる運用内製化

サントリーウエルネスが実践する、アプリ継続を生む温もりあるCX

[詳しくはこちら\(外部サイト:MarkeZine\)](#)

[詳しくはこちら\(外部サイト:MarkeZine\)](#)

## 教育講座・セミナー案内



### ●マーケティング・リサーチ ベーシックコース

本講座は、初めてマーケティング・リサーチ業務に接する人から3年程度の業務経験を重ねた方の、リサーチの全体像の知識取得と理解を目標として開講するものです。

講座の内容は、マーケティング・リサーチの基本である、定量調査と定性調査の基礎を理解し、マーケティング・リサーチの全体を俯瞰して体系的に学びます。そのうえで、調査の各工程は有機的に結合し、ある工程の成果は次の工程に大きく影響することを踏まえて、各工程に従事する人が、調査の全工程を含む知識を有することができるものとなっています。

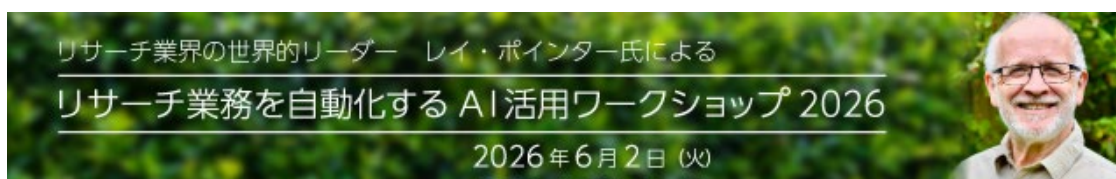
また、定量調査の解説に多くの事例を紹介し、より理解しやすくなるように編集をいたしております。

マーケティング・リサーチの実務を担当して日の浅い方や調査の基本を知りたい方、また、調査の営業・企画担当者に受講をお勧めします。

・日程(視聴期間):2026年5月1日(金)10:00～6月30日(火)17:00 まで

・会場:オンデマンド+フォローアップ講座

[詳しくはこちら](#)



●リサーチ業界の世界的リーダー レイ・ポインター氏による

## リサーチ業務を自動化する AI 活用ワークショップ 2026

日々のリサーチ業務を自動化させることで業務全体の効率化につなげたいと思いませんか？この講座は、ChatGPT、Claude、Gemini、Copilot などの主要な AI ツールを使って、よりスピーディに、より効果的に、そしてより自信をもって業務をすすめる方法を、講義だけでなく、実際に手を動かしながら学んでいただく、AI によるリサーチの自動化のための実践的ワークショップです。

このワークショップは対面式です。当日は、ノート PC 持参でご参加ください。

日本語字幕と日本語サポートがありますので、英語の苦手な方もご安心ください。

・日程:2026 年 6 月 2 日(火)10:00~16:00

・会場:JMRA 研修室

[詳しくはこちら](#)



## 定性調査がわかる基礎講座

2026 年 7 月 8 日(水)

### ●定性調査がわかる基礎講座

実務経験豊富な講師陣が、体験に基づいた定性調査の魅力と基礎知識をぎゅっと凝縮してお伝えします。

これから定性調査に取り組もうという方、定性調査のプロジェクトを進める上でのビギナーやアシスタントの役割を担う方、また、定性調査を担当するようになったものの、いまひとつ確信がもてないと感じておられる方にも、ぜひご参加いただきたいオンライン講座です。

定性調査のおもしろさ、醍醐味、実務の流れ、設計上必要なこと、注意点を、講義とワークと Q&A で、体感的に学べます。

・日程:2026 年 7 月 8 日(水)10:00~16:00

・会場:Zoom ミーティング

[詳しくはこちら](#)



## 定性調査 実務に役立つ企画力養成講座

2026年7月15日(水)・22日(水)・29日(水)・8月5日(水)

### ●定性調査 実務に役立つ企画力養成講座

調査意図を見極めて、分析的な視点で企画する力を身に付けます。

企画は調査の羅針盤です。企画をしっかりと考えることは、調査そのものの価値を上げ、役に立つアウトプットを導くことに繋がります。

本講座では、クライアントのマーケティング課題を、調査目的→調査課題→調査項目と整理し、フローにつなげる流れを体系的に学びます。実際の実務の中で「シマッタ！を無くしたい」、「より満足度の高い定性調査にしていきたい」、そんな方々にご参加いただきたい講座です。

実際に直面するような事例を使った実践的なワーク体験で、考える力を身に付けます。

複数の事例で、考える&実践的なワークを通して学びます。

まず個人で考え、次に少人数のグループでディスカッションという組み合わせでワークを行うことで、知識をしっかりと腹落ちさせます。

・日程:2026年7月15日(水)・22日(水)・29日(水)・8月5日(水)

・会場:7月15日(水)11:00~17:00 JMRA 研修室

7月22日(水)・29日(水)・8月5日(水)13:00~17:00 Zoom ミーティング

[詳しくはこちら](#)

## お知らせ



●Esomar APAC 2026 in Tokyo 5/28 基調講演に茂木健一郎氏の登壇が決定しました！

“BEYOND BALANCE(調和のその先へ)”をテーマに、10年ぶりに Esomar APAC (Esomar Asia Pacific Conference) イベントが東京に帰ってきます！(同時通訳付き)。

2日目の基調講演(5月28日、9:35~10:15)には、脳科学者として著名な茂木健一郎氏が「AI時代の人間の脳の可能性」をテーマに登壇されます。ご期待ください。また、初日(27日)のワークショップ(JMRA 協力:日本語で実施)「実データを用いてハンズオンで学ぶ AI 分析ツール」(講師:(株)アンド・ディ、佐藤哲也氏・小木戸 渉氏)も見逃せません。

JMRA 会員には Esomar とのパートナーシップ契約に基づく 20%割引が適用され、クライアント側の参加者には特別プロモーション価格が提供されます。調査会社の皆さん、ぜひあなたのクライアントをお誘いの上、お申し込みください。

・日時:2026年5月27日(水)~29日(金)

(うち、日本語ワークショップは27日の11:00~12:00)

・会場:ヒルトンホテル東京お台場(ゆりかもめ「台場駅」直結)

(会場参加のみ、オンライン中継はありません)

・参加費:クライアント(調査業務発注者)側の参加者 500 ユーロ

JMRA 会員(正会員・賛助会員)1,736 ユーロ(非 Esomar 会員の場合)

生成 AI の波は当業界を含むあらゆる産業にかつてない変革をもたらしています。世界の、そしてアジア太平洋諸国におけるベストプラクティスに学ぶ絶好の機会に、あなたも直接ご参加ください。プロモーションコードを含む申し込み方法の詳細は JMRA 事務局まで。

[詳しくはこちら\(外部サイト:Esomar\)](#)

---

#### ●JMRA が後援するイベントのご案内

JMRA では、市場調査業界のドメイン拡張と関連業界とのコラボ促進を目指し、さまざまなイベントへの出展・後援を行っています。

今後も各主催団体と連携し、共同研究発表など、お互いのコンテンツをジョイントしていける場を拡張していく予定です。

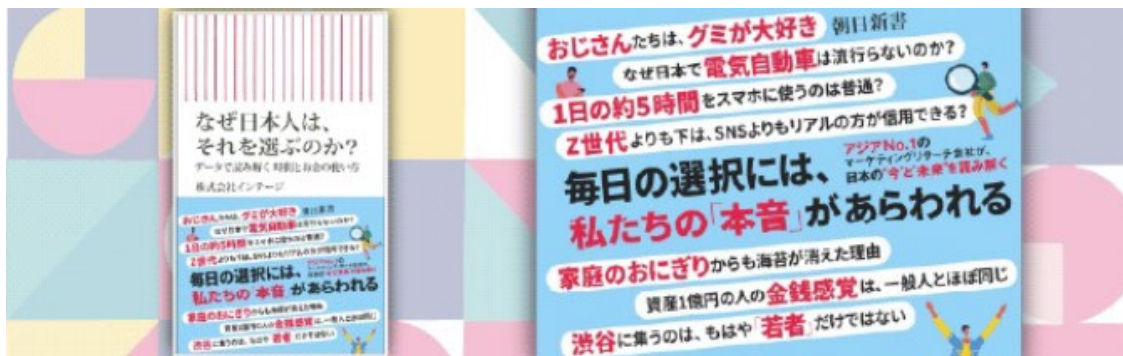
## 【マーケティング・テクノロジーフェア 大阪 2026 のご案内】

マーケティング、データ活用、DXを支える最新テクノロジーが集結する「マーケティング・テクノロジーフェア 大阪 2026」が開催されます。本フェアでは、マーケティング活動のソリューションやコールセンターの事例が紹介されます。

5月28日の本イベントには、JMRAの和田事務局長が登壇します。AI時代のマーケティング・リサーチプロセスの変化と、人間が担う「仮説構築・修正・判断」の価値について、マーケティング・リサーチ企業から公開されているケースも参考にしながらお話しします。

- ・名称: マーケティング・テクノロジーフェア 大阪 2026(第8回)
- ・日程: 2026年5月27日(水)・28日(木) 10:00~17:00
- ・会場: マイドームおおさか

詳しくはこちら(外部サイト: インフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社)



## ●新刊のご案内「なぜ日本人は、それを選ぶのか？ データで読み解く時間とお金の使い方」

JMRA 正会員の株式会社インテージより、JMRA 副会長・高山氏を中心とするチームによる新刊が出版されました。

生活者の購買・行動データをもとに、「時間」と「お金」の使い方に着目し、日本人の意思決定や選択行動の特徴を分析した一冊です。マーケティングや生活者理解に関心を持つ方々にとって、多くのヒントを得られる内容となっています。

- ・編著者:株式会社インテージ
- ・タイトル:なぜ日本人は、それを選ぶのか？ データで読み解く時間とお金の使い方
- ・定価:950 円+税
- ・出版社:朝日新聞出版
- ・発売日:2026 年 4 月 13 日

詳しくはこちら(外部サイト:(株)朝日新聞出版)

- 6月号は6月16日(火)発行予定です

## 巻末コラム 小さなオフィスから

「思春期の葛藤」という言い方がありますね。「成長痛」という表現もあります。思春期から成長しておとなになっても、自分であることに変わりはない。成人しても、いろいろな環境の変化で、都度つどの課題と葛藤が出てきます。でも、あとで振り返ってみると、葛藤や痛いところが消えていたりすることもあります。環境変化をうまくやりすごすことができたのか。きちんと向き合って乗り越えることができたのか。そのどちらでもないのか。変化が大きいときに、しっかり向き合くと、あとで自分が納得できることがあるようにも思います。新年度がはじまりました。安定しない環境と、大きな変化の中ですが、葛藤も、明日の力にできるとよいな、と思います。

◆このメールはメルマガをご登録されている方に配信しています。

◆配信停止を希望される方は以下よりお願いいたします。

[https://y.bmd.jp/bm/p/f/s.php?id=jmra\\_mm1130&mail=aso%40jmra-net.or.jp&no=351881](https://y.bmd.jp/bm/p/f/s.php?id=jmra_mm1130&mail=aso%40jmra-net.or.jp&no=351881)

※JMRA セミナーを受講中の方、JMRA の会員窓口ご担当者様、委員会等に参画されている方が本機能により配信停止を行った場合、セミナーや委員会等に関するご案内も併せて停止されます。メルマガ以外のご案内を引き続きご希望の場合は、以下の配信元アドレスまでご連絡ください。

◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

◆プライバシーポリシーは [こちら](#)をご覧ください。

◆配信元：一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会  
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-9 石川LKビル 2 階

<https://www.jmra-net.or.jp/>

[office@jmra-net.or.jp](mailto:office@jmra-net.or.jp)

あなたの中に未来がある。